

酵素と金属錯体による代謝と代謝モデルの酸化還元 制御

竹中, 慎

<https://hdl.handle.net/2324/2236193>

出版情報 : 九州大学, 2018, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	竹中 慎				
論 文 名	酵素と金属錯体による代謝と代謝モデルの酸化還元制御				
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	氏名	小江 誠司
	副 査	九州大学	教授	氏名	久枝 良雄
	副 査	九州大学	教授	氏名	後藤 雅宏

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文では、*Citrobacter* sp. S-77 から新規に精製した PFOR_{S77} を固定化することで、ピルビン酸の酸化によるアセチル補酵素 A の新しい合成法を確立している。また、金属錯体を用いて、核酸塩基の酸化還元反応について詳細に検討している。本研究で得られた知見は、代謝の酸化還元反応の制御において有益なものであり、生物化学と触媒化学上、価値ある業績であると認める。